



令和6年度

「大学生と集落の協働による地域活性化事業」
活動報告会

日時：令和7年2月8日(土) 13:00~17:00

場所：杉妻会館 4階「牡丹」・3階「百合」

令和6年度 「大学生と集落の協働による地域活性化事業」

各グループの活動概要

	番号	大学生グループ名	受入集落名	活動概要
1 年 目	1-1	獨協大学 大竹ゼミ	昭和村 まつやま 松山集落	地元住民との交流や住環境の調査を通して、松山地区の歴史・文化・産業について学習した。1月は雪かき、かんじきを体験し雪国の暮らしを知った。
	1-2	会津短大 プロダクトデザインゼミ	いわき市 とおの 遠野地区	遠野和紙については今までの和紙の在り方にとられない製品を、楮の芯については芯の特徴を活かした製品を提案した。
	1-3	獨協大学 地域活性化プロジェクト長外路 チーム	田村市 ながとろ 長外路地区	「薪の里ながとろ」やビオトープの視察、「ムシムシランド」での昆虫採集や標本づくり体験、避難訓練活動の支援、長外路城跡再生 WS への参加などを行った。
	1-4	東京農業大学 食農文化・政策研究室	会津坂下町 わかみや 若宮地区	「ごろべえもち」の販売が難しくなっているという課題の解決方法を探るため、地域のイベントでの調理・販売や、アレンジレシピの開発を行った。
	1-5	獨協大学 地域活性化プロジェクト中谷地 区チーム	石川町 なかに 中谷地区	現地の方々へのヒアリング、林業体験・植樹体験、さつまいもの収穫及び学校内での加工・販売、町の歴史資料館の視察などを行った。
2 年 目	2-1	千葉大学 地域計画学齋藤研究室	下郷町 おおうち 大内地区	6月に茅の苗植え、11月に集落総出の茅刈りを行った。また、9月には地元小学生と里山探検を実施した。
	2-2	伊達ななかまたち (宮城大学・東北公益文科大学)	伊達市 あわの 栗野地区	地域の担い手発掘・育成を目的とした粟野次世代若者育成プロジェクトを実施した。粟野交流館でドローン体験講座を開催した。
	2-3	福島大学 行政政策学類廣本ゼミ	喜多方市 おおもり 大森集落	今年度の活動内容は、住民の目線になり集落の現状、課題、解決策を考えることであった。また、よそ者の目線を入れてつ集落の活動やヒアリング調査などを行った。
	2-4	日本工業大学 学生環境推進委員会	只見町 しおざわ 塩沢集落	昨年度の活動から得た課題解決策として、空き家活用、観光促進、SNS 活用の三つのテーマを掲げ、改善に取り組んだ。
	2-5	磐梯山プロジェクトチーム (立教大学・文教大学)	北塩原村 ひばら うらぼんたい 松原・裏磐梯地区	今年度は2度現地調査を実施し、聞き取り調査を行った。また、土産物の販売方法や商品について、若者をターゲットとした改善点と提案をまとめた。
	2-6	宮城学院女子大学 宮原ゼミ COLORS	会津坂下町 すばしり 洲走地区	りんごの試食・販売会を2箇所で開催した。そば祭りのボランティアのため洲走地区を訪問した。来年度地区が自走できるような方法を模索・検討した。
	2-7	東北大学 福興 youth	三春町 かいやま 貝山集落	しいたけ観察アプリを作成し、安積高校と田村高校でモニターを募集した。地区の住民とレクや郷土料理を通して親睦を深めた。
	2-8	芝浦工業大学 笑顔のまちなこそプロジェクト	いわき市 たびと 田人地区	子供たちが交流できる機会をつくるために何ができるのか現地調査を行い、段ボールでまちをつくるイベントを行った。
	2-9	東京農業大学 SATOYAMA Creators	鮫川村 まごか 真坂集落	真坂公園のイルミネーション作成・草刈りなどの公園管理を行った。どんど焼き「西小屋」に参加した。
伴 走 支 援	3-1	専修大学 商学部渡邊隆彦ゼミ	喜多方市 じわり 地割地区	主に農業体験と交流会を実施した。農業体験では、エゴマの植えやトウモロコシの収穫などを体験し、交流会ではお互いの考えを共有しあった。
	3-2	東北学院大学 南津島民俗調査プロジェクト	浪江町 みなみつしま 南津島地区	芸能の継承活動を支援し、公演に協力した。また展示や広報活動に新たに取り組んだ。
	3-3	福島大学 岩崎ゼミ	二本松市 とざわ 戸沢7区	地域資源や住民の思いを次世代に継承するために、生活史の聞き書きにより「集落史―戸沢地区の“これまで”と“これから”」を作成した。
	4-1	東北学院大学 金子研究室川内村プロジェクト	川内村 第7行政区	現地の祭りに参加し、あらたに小祠の調査を実施した。また諏訪神社資料の提供を受け、保存・整理事業を進めた。
	4-2	獨協大学 こまち「大地の泉」つながるプロ ジェクト	小野町 やつざく 谷津作行政区	8月には懇談会や、温泉卵等の源泉活用の検証を行い、10月には現地のお祭りに参加し、現地の方と交流を深めた。
	4-3	やどりぎ案内 (東京藝術大学ほか)	西会津町 なかもち 中町集落	これまでの交流の成果を披露する展覧会の実施、シャッターアート制作を行った。また、集落の行事にも参加した。
	4-4	前橋工科大学 都市・地域計画研究室	二本松市 たけのうち あかつち 竹ノ内・赤土集落	地域復興に関するアンケート、空き家活用に先立つ竹の活用案の検討・実施、空き家活用に向けたソフト面に関するワークショップの開催などを行った。



1-1

獨協大学 大竹ゼミ × 昭和村 松山集落

経済地理学の観点から持続可能な農業・農地地域の実現に向け、エコツーリズムやグリーンツーリズムを活用した地域振興について学んでいる。

□集落の抱えている課題

住民の高齢化及び人口減少により、四季折々の自然に合わせた営みや行事、農作を中心とした松山の暮らしの維持が困難になりつつある。

□今年度の活動

地元住民との交流や住環境の調査を通して、松山地区の歴史・文化・産業について学習した。1月は雪かき、かんじきを体験し雪国の暮らしを知った。



1-2

会津短大 プロダクトデザインゼミ × いわき市 遠野地区

地域資源や素材などを活用したデザインで地域の活性化に貢献できるように心掛けている。

□集落の抱えている課題

遠野町地域づくり振興協議会は、伝統産業である遠野和紙の技術継承に取り組む一方、スタッフの高齢化対策として若手の参入促進を模索している。また、和紙と和紙作りで廃棄される楮（こうぞ）の芯の活用法を検討している。

□今年度の活動

遠野和紙については今までの和紙の在り方にとらわれない製品を、楮の芯については芯の特徴を活かした製品を提案した。





獨協大学 地域活性化プロジェクト長外路チーム × 田村市 長外路地区

獨協大学米山ゼミ地域活性化プロジェクトのメンバーを中心に地域活性化や福島県の復興に興味がある学生9名で構成されている。

□集落の抱えている課題

少子高齢化や過疎化が進行している。地域の観光スポットの認知度が低く、若い世代を呼び込めておらず、近くにコンビニエンスストアや宿泊施設が少ない。電車やバスなどの公共交通機関が少なく、アクセスしづらい。

□今年度の活動

「薪の里ながとろ」やビオトープの視察、「ムシムシランド」での昆虫採集や標本づくり体験、避難訓練活動の支援、長外路城跡再生 WS への参加などを行った。



東京農業大学 食農文化・政策研究室 × 会津坂下町 若宮地区

2019年より会津坂下町の米・馬肉・酒の会社と産学連携プロジェクトを行っている。今回は、若宮地区との連携で活動の幅を広げていく。

□集落の抱えている課題

地域の中心的な役割を担ってきた農家の高齢化に伴い、離農者や遊休農地が増加している。そうした中で、地域のPRと活性化を目的に「ごろべえもち」を祭り等のイベントで販売してきた。しかし法改正等による衛生管理の対応から、「ごろべえもち」をこれまで通り販売することが難しくなっている。

□今年度の活動

「ごろべえもち」の販売が難しくなっているという課題の解決方法を探るため、地域のイベントでの調理・販売や、アレンジレシピの開発を行った。





獨協大学 地域活性化プロジェクト中谷地区チーム × 石川町 中谷地区

福島県出身、海外ボランティア、ふるさとワーキングホリデー、他の福島県事業などの多様な経験を活かして地域を盛り上げる。

□集落の抱えている課題

町でとれる野菜などの食べものをはじめ、町のシンボルでもある石、広大な土地や風景など、地域の持つ特色を活かすようなイベントや活動を行えていないことが課題。



□今年度の活動

現地の方々へのヒアリング、林業体験・植樹体験、さつまいもの収穫及び学校内での加工・販売、町の歴史資料館の視察などを行った。



MEMO



千葉大学 地域計画学齋藤研究室

× 下郷町 大内地区

地域住民の生活から空間を見るという視点から、農村の集落空間、都市のオープンスペースの分析と計画を行っている。

□集落の抱えている課題

山側の農地が荒れてしまっているほか、街並みを守るための厳しいルールから今後のまちづくりにおける問題点などもあるように感じた。

□今年度の活動

6月に茅の苗植え、11月に集落総出の茅刈りを行った。また、9月には地元小学生と里山探検を実施した。



伊達ななかまたち（宮城大学・東北公益文科大学）

× 伊達市 粟野地区

宮城大学と東北公益文科大学の学生により構成され、本事業には2023年度より参加。伊達市粟野地区と協働し、集落の活性化に向けた取り組みを実施している。

□集落の抱えている課題

若者の活躍の場や交流の機会の不足などにより、地域の次世代の担い手や持続性に対して課題がある。若い世代が地域に参加しやすい環境の整備が求められる。

□今年度の活動

地域の担い手発掘・育成を目的とした粟野次世代若者育成プロジェクトを実施した。粟野交流館でドローン体験講座を開催した。





福島大学 行政政策学類廣本ゼミ

× 喜多方市 大森集落

福島大学行政政策学類廣本ゼミでは、現地の『夢の森花の散歩みち実行委員会』に加入し活動に参加しながら、現地調査を行い地域の現状、課題などを調査した。

□集落の抱えている課題

集落は人口減少や少子高齢化、若者の流出などの課題を抱えている。また、『夢の森花の散歩みち実行委員会』では後継者不足が深刻化しており、これらの問題は地域全体の存続に直結している問題である。

□今年度の活動

今年度の活動内容は、住民の目線になり集落の現状、課題、解決策を考えることであった。また、よそ者の目線を入れつつ集落の活動やヒアリング調査などを行った。



日本工業大学 学生環境推進委員会

× 只見町 塩沢集落

学生環境推進委員会は、学部1年から4年の機械・電気・建築・情報学科等のメンバーで構成され、SDGs、環境活動など行う委員会である。

□集落の抱えている課題

只見町塩沢・十島地区は、人口減少・高齢化に伴い地区の持続可能性が危ぶまれている地域で、その影響は、農業や伝統行事の存続をも脅かす状況となっている。

□今年度の活動

昨年度の活動から得た課題解決策として、空き家活用、観光促進、SNS活用の三つのテーマを掲げ、改善に取り組んだ。





磐梯山プロジェクトチーム（立教大学・文教大学） × 北塩原村 桧原・裏磐梯地区

立教大学観光学部橋本研究室と文教大学国際学部海津研究室の共同チーム。それぞれ観光行動とエコツーリズムについて学ぶ。

□集落の抱えている課題

昨年度の調査から、土産物の多くが若者にとって手に取りにくい印象を与えていることが明らかになった。例えば、缶詰で販売される花豆は、若者に対して慣れないものへの抵抗感を与える。このような課題を踏まえ、土産物の改善・開発が求められる。



□今年度の活動

今年度は2度現地調査を実施し、聞き取り調査を行った。また、土産物の販売方法や商品について、若者をターゲットとした改善点と提案をまとめた。



宮城学院女子大学 宮原ゼミ COLORS × 会津坂下町 洲走地区

宮城学院女子大学現代ビジネス学科に所属し、マーケティングや観光、地域振興について学んでいる。

□集落の抱えている課題

魅力の発進力や発信場所がないこと。認知度の低さ。若い力が少ないこと。



□今年度の活動

りんごの試食・販売会を2箇所で開催した。そば祭りのボランティアのため洲走地区を訪問した。来年度地区が自走できるような方法を模索・検討した。





2-7

東北大学 福興 youth × 三春町 貝山集落

ボランティアサークル「東北大学福興 youth」のメンバーを中心に、指導教員や現地住民の協力のもとで事業に取り組んでいる。

□集落の抱えている課題

農林業を基幹産業とする集落であり、震災・原発事故の大きな影響を受けた。さらに、農業従事者の高齢化や減少も進行している。こうした複合的な要因により、離農者や耕作放棄地の増加が問題となっている。



□今年度の活動

しいたけ観察アプリを作成し、安積高校と田村高校でモニターを募集した。地区の住民とレクや郷土料理を通して親睦を深めた。



2-8

芝浦工業大学 笑顔のまちなこそプロジェクト × いわき市 田人地区

東日本大震災からの復興後のまちの振興をしたいという思いから、主にいわき市勿来地区において活動している学生団体。

□集落の抱えている課題

人口減少および人口流出が問題となっている。また、田人の子供たちはまちの外の子との積極的な交流の機会が不足している。交流する機会が少ないまままちを出ていく人もいる。



□今年度の活動

子供たちが交流できる機会をつくるために何ができるのか現地調査を行い、段ボールでまちをつくるイベントを行った。



東京農業大学 SATOYAMA Creators × 鮫川村 真坂集落

学部生だけでなく、院生も参加している団体で、里山の文化や自然を学ぶことを目的としているグループ。

□集落の抱えている課題

地区の人口減少による行事の存続、地区の交流につながる公園の利用減少。公園、集落の管理が厳しくなっている。



□今年度の活動

真坂公園のイルミネーション作成・草刈りなどの公園管理を行った。どんど焼き「酉小屋」に参加した。



MEMO



専修大学 商学部渡邊隆彦ゼミ × 喜多方市 地割地区

専修大学でマーケティングを専攻する学生グループ。ゼミ活動としては、株価などを用い、マーケット分析を通じた企業分析を行う。

□集落の抱えている課題

後継者不足、高齢化による労力不足、移住者の発生などが挙げられる。その理由としては、住民の高齢化、交通の不便性、冬の除雪作業、へき地農地管理の不便性などが考えられる。



□今年度の活動

主に農業体験と交流会を実施した。農業体験では、エゴマの植えやトウモロコシの収穫などを体験し、交流会ではお互いの考えを共有しあった。



東北学院大学 南津島民俗調査プロジェクト × 浪江町 南津島地区

民俗芸能の継承を支援していくことを通じて、帰還困難区域となってしまった集落の活性化に寄与している。

□集落の抱えている課題

南津島集落は、大部分が帰還困難区域に指定されている。住民の方々の大多数が、避難を継続せざるをえない状況である。そのため、地域の文化を維持していくことも困難になっている。地域の誇りである芸能を何とか維持したい。



□今年度の活動

芸能の継承活動を支援し、公演に協力した。また展示や広報活動に新たに取り組んだ。





3-3

福島大学 岩崎ゼミ × 二本松市 戸沢7区

持続可能な地域づくりについて学んでいる行政政策学類岩崎ゼミのグループ。

□集落の抱えている課題

阿武隈山系に位置する中山間地域で、かつては養蚕が盛んな地域であった。人口減少と高齢化の進行により、耕作放棄、里山の荒廃が拡大している。



□今年度の活動

地域資源や住民の思いを次世代に継承するために、生活史の聞き書きにより「集落史—戸沢地区の“これまで”と“これから”」を作成した。



4-1

東北学院大学 金子研究室川内村プロジェクト × 川内村 第7行政区

歴史学科2年生にバトンをつないで活動を進めた。地域活動を行うのが初めてのメンバーばかりである。

□集落の抱えている課題

原発災害の影響を受け、居住制限が解除されたいまも過疎・高齢化が進行している。かつて行われていた祭事はほとんどが休止・廃絶してしまった。地域文化の記録を少しでも残したい。



□今年度の活動

現地の祭礼に参加し、あらたに小祠の調査を実施した。また諏訪神社資料の提供を受け、保存・整理作業を進めた。





獨協大学 こまち「大地の泉」つながるプロジェクト × 小野町 谷津作行政区

行政区内の源泉「大地の泉」を活用し、集落内の人と人とのつながりを強固にするために活動。メンバーは学生8名。

□集落の抱えている課題

小野町内では、人口の減少及び少子高齢化が進行しており、行政区内においても活力の低下、住民同士のつながりの希薄化が課題となっている。また、町内唯一の高校の閉校により、若者の流出がより一層進むことも危惧される。



□今年度の活動

8月には懇談会や、温泉卵等の源泉活用の検証を行い、10月には現地のお祭りに参加し、現地の方と交流を深めた。



やどりぎ案内（東京藝術大学ほか） × 西会津町 中町集落

アートプロジェクトを通して地域と交流を図るため、都内美大在学・卒業のメンバーが中心となり結成したアートチーム。

□集落の抱えている課題

西会津町の中でも北部の山間部に位置し、少子高齢化が深刻化している。若年層の減少により、地域活力の低下が懸念されており、農地の荒廃や空き家の増加などさまざまな課題を抱えている。



□今年度の活動

これまでの交流の成果を披露する展示会の実施、シャッターアート制作を行った。また、集落の行事にも参加した。



前橋工科大学 都市・地域計画研究室 × 二本松市 竹ノ内・赤土集落

都市地域計画研究室では大学院2年1名、学部4年5名、3年7名の計13名で各々の研究、地域活性化を主に活動している。

□集落の抱えている課題

人口減少や後継者不足から耕作放棄地が増加しており、景観の維持・管理が難しくなっている。また、コロナ以降、住民同士が交流する活動が少なくなっている。

□今年度の活動

地域復興に関するアンケート、空き家活用に先立つ竹の活用案の検討・実施、空き家活用に向けたソフト面に関するワークショップの開催などを行った。



MEMO

交流会では テーマごとにグループにわかれて 意見交換を実施します！

交流会は2部制です

- ① ポスターで気になるグループの活動を確認
- ② 意見交換会（下表の5つのグループに分かれた意見交換）

■大学生のみなさんへ

事前の希望を参考に、下表のチームに分かれていますので、代表者1～2名（集落の方が出席される場合は、集落の方が着席優先）が椅子に座り、他の方は立ってご参加下さい。

■受け入れ集落の方へ

大学生と一緒に、意見交換にご参加ください。集落の方から見た大学生の活動へのコメント、期待することなどお聞かせください。

■自治体の方へ

意見交換の様子をご自由にご覧ください。もちろん、意見交換にご参加いただいても構いません。

A グループ テーマ：地域コミュニティの活性化(交流)①	獨協大学 地域活性化プロジェクト中谷地区チーム&石川町 中谷地区 福島大学 行政政策学類廣本ゼミ&喜多方市 大森集落 芝浦工業大学 笑顔のまちなこそプロジェクト&いわき市 田人地区 前橋工科大学 都市・地域計画研究室&二本松市 竹ノ内・赤土集落
B グループ テーマ：地域コミュニティの活性化(交流)②	獨協大学 地域活性化プロジェクト長外路チーム&田村市 長外路地区 伊達ななかまたち&伊達市 粟野地区 宮城学院女子大学 宮原ゼミ COLORS&会津坂下町 洲走地区 福島大学 岩崎ゼミ&二本松市 戸沢7区
C グループ テーマ：地域産業の活性化(農業、観光、商品開発)	東京農業大学 食農文化・政策研究室&会津坂下町 若宮地区 日本工業大学 学生環境推進委員会&只見町 塩沢集落 磐梯山プロジェクトチーム&北塩原村 桧原・裏磐梯地区 東北大学 福興 youth&三春町 貝山集落 獨協大学 こまち「大地の泉」つながるプロジェクト&小野町 谷津作行政区
D グループ テーマ：自然環境・景観の保全(耕作放棄地、空き家)	獨協大学 大竹ゼミ&昭和村 松山集落 千葉大学 地域計画学齋藤研究室&下郷町 大内地区 専修大学 商学部渡邊隆彦ゼミ&喜多方市 地割地区 東北学院大学 金子研究室川内村プロジェクト&川内村 第7行政区
E グループ テーマ：伝統文化の保全・継承(歴史、食、芸術)	会津短大 プロダクトデザインゼミ&いわき市 遠野地区 東京農業大学 SATOYAMA Creators&鮫川村 真坂集落 東北学院大学 南津島民俗調査プロジェクト&浪江町 南津島地区 やどりぎ案内&西会津町 中町集落

令和6年度
「大学生と集落の協働による地域活性化事業」

福島県 企画調整部 地域振興課
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号